

令和 7 年度

通信教育実施計画



SINCE 1900

楽しさ発信！



学校法人 三島学園

東北生活文化大学高等学校

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
国語	現代の国語	2単位	必履修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「新編現代の国語」（現国701）
レポート	全6回	合格枚数：6枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全6回	合格時間数：1単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	4月20日	自己を見つめる	・こそめスープ ・ルリボシカミキリの青	<日程> 4/20、6/8、8/24
2	6月8日	他者に出会う	・未来をつくる想像力 ・水の東西	
3	8月24日	視野を広げる	・スキマが育む都市の緑と生命のつながり ・無彩の色	
4	10月5日	社会と関わる	・鍋洗いの日々 ・森で染める人 ・真夏のひしこ漁	<日程> 10/5、11/9、12/14
5	11月9日	世界とつながる	・美しさの発見 ・りんごのほっぺ	
6	12月14日	未来に目を向ける	・不思議な拍手 ・真の自立とは	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
国語	言語文化	2単位	必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「新編言語文化」（言文701）
レポート	全6回	合格枚数：6枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全6回	合格時間数：1単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	5月11日	随筆 生きる喜び 小説Ⅰ 触れ合う力	・さくらさくらさくら ・「美しい」ということ ・とんかつ ・雨漏りの音	<日程> 5/11、6/8、8/24 <内容> 各領域、単元における要点の解説。 会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。 表現の効果や形式に注目して、作品を読み味わう。 レポートNo.1～3の要点の解説を行う。
2	6月8日	詩歌 命をうたう	・柳あをめる ・雪の深さを ・冬が来た ・少年の日 ・I was born	
3	8月24日	小説Ⅱ 葛藤する心 小説Ⅲ 現実の向こう側	・羅生門 ・夢十夜 ・デューク	
4	10月19日	古文入門 古文の世界へ 随筆 日々の思い 詩歌 うたの心	・古文に親しむ ・児のそら寝 ・用光と白波 ・絵仏師良秀 ・徒然草 ・枕草子 ・折々のうた	
5	11月9日	物語 古人の生き方 紀行 旅の心	・伊勢物語 ・平家物語 ・奥の細道	
6	12月14日	漢文入門 漢文に親しむ 漢詩 漢詩を味わう 論語 論語の言葉 史話 史話を楽しむ	・訓読の基本 ・故事成語 ・絶句と律詩 ・論語 ・史話	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
国語	論理国語	4単位	選択

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「新編論理国語」（論国701）
レポート	全12回	合格枚数：12枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全6回	合格時間数：2単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- ・論理的・批判的に考える力や創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	4月20日	広がる風景	・対話とは何か ・世界をつくり替えるために	<日程> 4/20、6/8、8/24 <内容> 各領域、単元における要点の解説。 筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考えることで、文章を論理的に理解する力を養う。 レポートNo.1～6の要点の解説を行う。
2		考える手がかり	・少女たちの「ひろしま」 ・「ふしぎ」ということ	
3	6月8日	人間と知性	・学ぶことと人間の知恵 ・ラップトップ抱えた「石器人」	
4		現実の中で	・思考の肺活量 ・安心について	
5	8月24日	ものの見方	・弱肉強食は自然の摂理か ・複数の「わたし」	
6		働く喜び	・はじめに「言葉」がある ・楽に働くこと、楽しく働くこと	
7	10月5日	時代をひらく	・最初のペンギン ・豊かさとは生物多様性	<日程> 10/5、11/9、12/14 <内容> 各領域、単元における要点の解説、 筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉える。 レポートNo.6～12の要点の解説を行う。
8		新しい視点から	・物語の外から ・カフェの開店準備	
9	11月9日	科学と人間	・鏡としてのアンドロイド ・ロボットが隣人になるとき	
10		豊かな認識	・言葉は「ものの名前」ではない ・科学的「発見」とは	
11	12月14日	知のゆくえ	・知識における作者性と構造的性 ・もう一つの知性	
12		明日をみつめて	・ホンモノのおカネの作り方 ・未来のありか	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
国語	国語表現	4単位	選択

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座
レポート	全12回	合格枚数：12枚
スクーリング	全6回	合格時間数：2単位時間以上
期末試験	あり	評価割合：60%

教科書	東京書籍「国語表現」（国表702）
学習図書	必要に応じて指示
副教材	なし
評定	100点法・5段階評価

学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
--

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)			
1	4月20日	分かりやすく表現しよう ポイント①②	相手・内容・目的・状況を明確にする 情報の取捨選択・重みづけを行う	<日程> 4/20、6/8、8/24 <内容> 各領域、単元における要点の解説。 情報を整理し「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて分かりや すく伝える方法を 身につける 。 レポートNo.1～6の要点の解説を行う。			
2		分かりやすく表現しよう ポイント③④	情報を伝える順序を考える 「見やすさ」に配慮して情報を整える				
3	6月8日	身体で表現しよう ステップ①②	他人を演じる インプロに取り組む				
4		「問い」を考えよう ステップ①②	目的とテーマを明確にして企画を立てる 依頼・準備をする				
5	8月24日	「問い」を考えよう ステップ③④	質問を考え、本番のシュミレーションをする インタビューに臨む				
6			「自分」を表現しよう		自分のことをよく知る 相手のことをよく知る 相手に魅力が伝わるように表現する 面接の準備をする		
		7			10月5日	論理的な文章を書こう(1)	A テーマ型 小論文
		8				論理的な文章を書こう(2)	B 課題文型 小論文
9	11月9日	話し合う力をつけよう	話し合いの基本的な展開 ファシリテーションの実践例を考える より深い話し合いのために	<内容> 各領域、単元における要点の解説、 与えられたテーマに対して自分の考えを明確にする力と論理的で説 得力のある文章を書く力を身につける 。また読み手に伝わるよう表 現を効果的に工夫し、自分ならではの作品を創作する 。 レポートNo.6～12の要点の解説を行う。			
10			情報活用力を身につけよう		企画立案・取材 編集・制作 発信		
		12月14日			説得力のある提案をしよう	提案内容を考える プレゼンテーションの内容・方法を考える プレゼンテーションを行う	
12	表現を楽しもう		俳句を詠む、短歌を詠む エッセーを書く、物語・小説を作る				

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
地理歴史	地理総合	2単位	必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「地理総合」（地総701）
レポート	全6回	合格枚数：6枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全6回	合格時間数：1単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

持続可能な社会づくりのために、実践的な地理的技能を習得することを目指す。
・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
・地理に関わる事象について、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力を身に付け、議論したりする力を養う。
・よりよい社会の実現を視野に主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	4月20日	第1編①	第1章 私達が暮らす世界	<日程> 4/20、5/25、7/6
			第2章 地図や地理情報システムの役割	
2	5月25日	第1編②	第3章 資料から読み取る現代社会	<内容> 各領域、単元における要点の解説。地図や地理情報システムなどを用いて、情報収集、読み取り、まとめるなどの技能を身に付け、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。レポートNo.1～3の要点の解説を行う。
		第2編①	第1章_1 生活文化の多様性と国際理解	
3	7月6日	第2編②	第1章_2 生活文化と自然環境①地形	<日程> 10/5、10/26、11/30
			第1章_3 生活文化と自然環境②気候	
4	10月5日	第2編③	第1章_4 生活文化と産業	
			第2章_1 地球環境問題	
			第2章_2 資源・エネルギー問題	<内容> 各領域、単元における要点の解説。国際理解や国際協力の重要性を認識することを主なねらいとして、特色ある生活文化と地理的環境との関わりや、地球的課題の解決の方向性について探究する。レポートNo.4～6の要点の解説を行う。
5	10月26日	第2編④	第2章_3 人口問題	
			第2章_4 食料問題	
			第2章_5 居住・都市問題	
			第2章_6 民族問題	
			第2章_7 持続可能な社会の実現をめざして	
6	11月30日	第3編	第1章 自然環境と防災	
			第2章 生活圏の調査と地域の展望	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
地理歴史	地理探究	3単位	選択

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「地理探究」（地探701）
レポート	全9回	合格枚数：9枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全6回	合格時間数：2単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

現代世界に求められるこれからの持続可能な日本の国土像を探究することを目指す。 ・現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付ける。 ・現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付ける。 ・現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付ける。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)	
1	4月20日	第 1 編①	第1章_1 世界の地形 第1章_2 気候と自然環境 第1章_3 気候と人々の生活	<日程> 4/20、5/25、7/6	
2	5月25日	第 1 編②	第1章_4 日本の自然環境と自然災害 第1章_5 世界の環境問題 第2章_1 産業の発展と社会的分業 第2章_2 農林水産業 第2章_3 食糧問題 第2章_4 エネルギーと鉱産資源	<内容> 各領域、単元における要点の解説。 テーマごとに地理的事象を取り上げ、その分布や空間的な広がりについての考察を通して、地球的な視野から地理的事象を理解する。 レポートNo.1～5の要点の解説を行う。	
3			第 1 編③		第2章_5 資源・エネルギー問題 第2章_6 工業の立地と工業地域の変容 第2章_7 第三次産業
4			7月6日		第 1 編③
5	第 1 編④	第4章_2 人口問題 第4章_3 村落・都市 第4章_4 居住・都市問題 第5章_1 生活文化の地域性			
6		10月5日		第 1 編⑤ 第 2 編①	
7			第 2 編②		<内容> 各領域、単元における要点の解説。 世界諸地域の特色や課題について多面的・多角的に考察する。 レポートNo.6～9の要点の解説を行う。
8	10月26日				第 2 編③
9		11月30日		第 2 編④ 第 3 編	
10			第2章_4 西アジアと中央アジア 第2章_5 北アフリカとサハラ以南アフリカ 第2章_6 ヨーロッパ 第2章_7 ロシア 第2章_8 アングロアメリカ 第2章_9 ラテンアメリカ		
11	第2章_10 オセアニア 第1章_1 日本の地理的諸課題を読み解く 第1章_2 持続可能な国土像の探究				

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
地理歴史	歴史総合	2単位	必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「新選歴史総合」（歴総701）
レポート	全6回	合格枚数：6枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全6回	合格時間数：1単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

- ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	5月11日	第1章 第2章①	第1章_1 歴史の扉	<日程> 5/11、5/25、7/6 <内容> 各領域、単元における要点の解説。私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。レポートNo.1～3の要点の解説を行う。
			第2章_1 近代化への問い	
			第2章_2 結びつく世界と日本の開国	
2	5月25日	第2章②	第2章_3 国民国家と明治維新	<日程> 10/19、10/26、11/30 <内容> 各領域、単元における要点の解説。第二次世界大戦の勃発から終結と戦後の国際秩序の形成について理解する。レポートNo.4～6の要点の解説を行う。
			第2章_4 近代化と現代的な諸課題	
3	7月6日	第3章①	第3章_1 国際秩序の変化や大衆化への問い	
			第3章_2 第一次世界大戦と大衆社会	
4	10月19日	第3章②	第3章_3 経済危機と第二次世界大戦	
			第3章_4 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	
5	10月26日	第4章①	第4章_1 グローバル化への問い	
			第4章_2 冷戦と世界経済	
6	11月30日	第4章②	第4章_3 世界秩序の変容と日本	
			第4章_4 現代的な諸課題の形成と展望	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
地理歴史	日本史探究	3単位	選択

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「日本史探究」(日探701)
レポート	全9回	合格枚数：9枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全6回	合格時間数：2単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

- ・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。
- ・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	5月11日	第1編①	第1章 先史社会の生活と文化	<日程> 5/11、5/25、7/6 <内容> 各領域、単元における要点の解説。人類が日本列島で生活を営み始めた時代から先史・古代・中世・近世がどのような時代であったかを世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにする。レポートNo.1～5の要点の解説を行う。
			第2章 歴史資料と先史・古代の展望	
			第3章 古代社会の形成と展開 1節 1・2	
2	5月25日	第1編②	第3章 古代社会の形成と展開 1節 3・4	
			第3章 古代社会の形成と展開 2節	
			第1章 中世社会の成立	
3	7月6日	第2編①	第2章 歴史資料と中世の展望	
			第3章 中世社会の展開 1節	
			第3章 中世社会の展開 2節	
4	10月19日	第3編①	第1章 近世社会の形成	<日程> 10/19、10/26、11/30 <内容> 各領域、単元における要点の解説、近現代がどのような時代であったかを世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解する。レポートNo.6～9の要点の解説を行う。
5			第2章 歴史資料と近世の展望	
			第3章 近世社会の展開 1節 1	
6	10月26日	第3編②	第3章 近世社会の展開 1節 2・3・4・5	
			第3章 近世社会の展開 2節	
			第1章 近代社会の幕開け	
7	11月30日	第4編①	第2章 歴史資料と近現代の展望	
			第3章 近現代社会の展望 1節	
			第3章 近現代社会の展望 2節～4節	
8		第4編②	第3章 近現代社会の展望 5節～8節	
9			第4章 現代の日本の課題の探究	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
公民	公共	2単位	必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座
レポート	全6回	合格枚数：6枚
スクーリング	全6回	合格時間数：1単位時間以上
期末試験	あり	評価割合：60%

教科書	東京書籍「公共」（公共701）
学習図書	必要に応じて指示
副教材	なし
評定	100点法・5段階評価

学習の目標

広い視野に立ち、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

- ・ 諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。
- ・ 選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。
- ・ 現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚などを深める。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	5月11日	第1部①	第1章 公共的な空間を作る私達 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方	<日程> 5/11、6/22、9/7 <内容> 各領域、単元における要点の解説。現実社会の諸課題を見だし、解決に向けて選択・判断の手がかりとなる考え方や「公共的な空間」における基本的原理を理解する。レポートNo.1～3の要点の解説を行う。
2	6月22日	第1部② 第2部①	第3章 公共的な空間における基本原理 第1章 民主政治と私達	
3	9月7日	第2部②	第2章 法の働きと私たち	
4	10月19日	第2部③	第3章 経済社会で生きる私たち	
5	11月16日	第2部④	第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私達 テーマ1・2	
6	1月11日	第2部⑤ 第3部	第5章 国際社会のなかで生きる私達 テーマ3・4 持続可能な社会づくりに参画するために	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・ レポートの内容の分析 ・ 定期考査の分析 ・ その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
公民	政治・経済	2単位	選択

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「政治・経済」(政経701)
レポート	全6回	合格枚数：6枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全6回	合格時間数：1単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

広い視野に立ち、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

- ・ 諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。
- ・ 選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、社会の在り方などについて構想し、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
- ・ 現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、自国を愛し、国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	5月11日	第1編①	第1章_1 民主政治の基本原理	<日程> 5/11、6/22、9/7
			第1章_2 日本国憲法の基本原理	
2	6月22日	第1編②	第1章_3 日本の政治機構	<内容> 各領域、単元における要点の解説。現代日本の政治・経済に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について学習する。レポートNo.1～3の要点の解説を行う。
			第1章_4 現代政治の特質と課題	
3	9月7日	第1編③	第2章_1 現代の資本主義経済	<日程> 10/19、11/16、1/11
			第2章_2 現代経済のしくみ	
4	10月19日	第1編④	第2章_3 日本経済の発展と現状	<内容> 各領域、単元における要点の解説。国際政治・経済に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について学習する。レポートNo.4～6の要点の解説を行う。
			第2章_4 福祉社会と日本経済の課題	
5	11月16日	第1編⑤ 第2編①	第3章 現代日本の諸課題	<内容> 各領域、単元における要点の解説。国際政治・経済に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について学習する。レポートNo.4～6の要点の解説を行う。
			第1章 現代の国際政治	
6	1月11日	第2編②	第2章 現代の国際経済	
			第3章 国際社会の諸課題	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・ レポートの内容の分析 ・ 定期考査の分析 ・ その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
数学	数学基礎	2単位	選択

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「ラスバ数学」
レポート	全6回	合格枚数：6枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全6回	合格時間数：1単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

高校数学を学ぶ前の基礎的知識として、小学校・中学校で学んだ学習内容について復習を行う。 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する基礎をつくることを目指す。
--

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	スクーリング (日程と内容)
1	4月20日	整数（小数）の加減①② / 内角の和を使った図形問題 整数（小数）の乗除①② / 割合、百分率の問題	<日程> 4/20、5/25、7/27 <内容> 各領域、単元における要点の解説。小学校、中学校で学んだ基本的な計算を中心に、割合などの実生活に関わる計算を理解する。レポートNo.1～3の要点の解説を行う。
2	5月25日	2乗・3乗の計算 / 図形の面積や体積を求める問題 分数の加減（同分母） / 分数の加減（異分母） 分数の加減（約分の必要な計算）	
3	7月27日	割合・比の問題 / 時間→分、分→時間 分数の乗法 / 分数の除法 / 速さ・道のり・時間の関係	
4	10月5日	反比例の関係をを用いる問題 / 文字式のきまり 文字式の計算（多項式）±（多項式） 文字式の計算（多項式）×（数）etc.. / 式の値	<日程> 10/5、10/26、12/7 <内容> 各領域、単元における要点の解説、文字式や方程式の解き方を理解し、それを応用した文章題で活用することで、数学の有用性を学ぶ。レポートNo.4～6の要点の解説を行う。
5	10月26日	1次方程式①② / 1次方程式の文章題①② 連立方程式（加減法） / 連立方程式（代入法）	
6	12月7日	連立方程式の文章題 / 比例式の計算 相似な図形と比例式 / 平方根の定義 / 平方根の四則計算	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
数学	数学Ⅰ	3単位	必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「新数学Ⅰ」（数Ⅰ704）
レポート	全9回	合格枚数：9枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全6回	合格時間数：2単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	4月20日	1章 数と式①	1節 文字と式	<日程> 4/20、5/25、7/27 <内容> 各領域、単元における要点の解説。式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理するなどして、目的に応じて適切に変形したりする力を培う。2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について多面的に考察する。レポートNo.1～3の要点の解説を行う。
2	5月25日	1章 数と式②	2節 実数	
3		1章 数と式③	3節 方程式と不等式	
4	7月27日	2章 2次関数①	1節 2次関数とそのグラフ	
5		2章 2次関数②	2節 2次関数の値の変化	
6	10月5日	3章 三角比①	1節 鋭角の三角比	<日程> 10/5、10/26、12/7 <内容> 各領域、単元における要点の解説、 三角比の意味やその基本的な性質について理解できるようにする。集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。 レポートNo.4～6の要点の解説を行う。
7		3章 三角比②	2節 三角比の応用	
8	10月26日	4章 データの分析	1節 データの分析	
9	12月7日	5章 集合と論証	1節 集合と論証	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
数学	数学Ⅱ	4 単位	選択

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座
レポート	全12回	合格枚数：12枚
スクーリング	全6回	合格時間数：2単位時間以上
期末試験	あり	評価割合：60%

教科書	東京書籍「新数学Ⅱ」（数Ⅱ717）
学習図書	必要に応じて指示
副教材	なし
評定	100点法・5段階評価

学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 数の範囲や式の性質に着目し、式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	4月20日	1 章 方程式・式と証明①	1 節 式の計算	<日程> 4/20、5/25、7/27
2		1 章 方程式・式と証明②	2 節 2次方程式	
3	5月25日	1 章 方程式・式と証明③	3 節 高次方程式	<内容> 各領域、単元における要点の解説。多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。レポートNo.1～6の要点の解説を行う。
4			4 節 式と証明	
5	7月27日	2 章 図形と方程式①	1 節 座標と直線の方程式	
6			2 節 円の方程式	
7		2 章 図形と方程式②	3 節 軌跡と領域	
8	10月5日	3 章 三角関数①	1 節 三角関数	
9		3 章 三角関数②	2 節 加法定理	
10	10月26日	4 章 指数関数と対数関数①	1 節 指数関数	<内容> 各領域、単元における要点の解説。角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について理解できるようにする。指数関数、対数関数について理解する。微分係数や導関数についての理解および、積分の有用性を理解する。レポートNo.6～12の要点の解説を行う。
11		4 章 指数関数と対数関数②	2 節 対数関数	
12	12月7日	5 章 微分と積分①	1 節 微分係数と導関数	
		5 章 微分と積分②	2 節 導関数の応用	
		5 章 微分と積分③	3 節 積分	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
数学	数学A	2単位	選択

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「新数学A」(数A704)
レポート	全8回	合格枚数：8枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全6回	合格時間数：1単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学習内容

レポートNo.	レポート提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	4月20日	1章 場合の数と確率①	1節 場合の数	<日程> 4/20、5/25、7/27 <内容> 各領域、単元における要点の解説。場合の数を求めるときの基本的な考え方、確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。レポートNo.1～4の要点の解説を行う。
2	5月25日	1章 場合の数と確率②	2節 確率①～④	
3		1章 場合の数と確率③	2節 確率⑤～⑧	
4	7月27日	2章 図形の性質①	1節 平面図形の基礎	
5	10月5日	2章 図形の性質②	2節 三角形の性質	<日程> 10/5、10/26、12/7 <内容> 各領域、単元における要点の解説、平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。主に整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深め、数学を用いて考察できるような力を培う。レポートNo.5～8の要点の解説を行う。
6		2章 図形と方程式②	3節 円の性質	
			3節 空間図形	
7	10月26日	3章 数学と人間の活動①	1節 数や位置を表す	
			2節 数のつくりを調べる	
8	12月7日	3章 数学と人間の活動②	3節 はかる	
			4節 数学で遊ぶ	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
理科	科学と人間生活	2単位	必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「科学と人間生活」（科人701）
レポート	全8回	合格枚数：8枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全8回	合格時間数：4単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
・観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	5月11日	1編 生命の科学①	1章 微生物とその利用	<日程> 5/11、6/8、7/6、8/24 <内容> 各領域、単元における要点の解説。自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究する力を養う。レポートNo.1～4の要点の解説を行う。
2	6月8日	1編 生命の科学②	2章 ヒトの生命現象	
3	7月6日	2編 物質の科学①	1章 材料とその再利用	
4	8月24日	2編 物質の科学②	2章 衣類と食品	
5	10月19日	3編 光や熱の科学①	1章 光の性質とその利用	<日程> 10/19、11/9、11/30、12/14 <内容> 各領域、単元における要点の解説、自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究する力を養う。レポートNo.5～8の要点の解説を行う。
6	11月9日	3編 光や熱の科学②	2章 熱の性質とその利用	
7	11月30日	4編 宇宙や地球の科学①	1章 太陽と地球	
8	12月14日	4編 宇宙や地球の科学②	2章 自然景観と自然災害	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
理科	生物基礎	2単位	選択必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「新編生物基礎」（生基702）
レポート	全6回	合格枚数：6枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全8回	合格時間数：4単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	5月11日	1編 生物の特徴	1章 生物の多様性と共通性	<日程> 5/11、6/8、7/6、8/24 <内容> 各領域、単元における要点の解説。生物的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を養う。レポートNo.1～3の要点の解説を行う。
			2章 生物とエネルギー	
2	6月8日	2編 遺伝子とのはたらき	1章 遺伝情報とDNA	
			2章 遺伝情報とタンパク質の合成	
3	7月6日	3編 ヒトの体の調節①	1章 ヒトの体を調節するしくみ	
4	10月19日	3編 ヒトの体の調節②	2章 免疫の働き	<日程> 10/19、11/9、11/30、12/14 <内容> 各領域、単元における要点の解説、生物的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を養う。レポートNo.4～6の要点の解説を行う。
5	11月9日	4編 生物の多様性と生態系①	1章 植生と遷移	
6	11月30日	4編 生物の多様性と生態系②	2章 生態系と生物の多様性	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
理科	生物	4単位	選択

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「生物」(生物701)
レポート	全12回	合格枚数：12枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全12回	合格時間数：7単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名		教材名	スクーリング (日程と内容)	
1	5月25日	1編 生物の進化①	1章 生命の起源と細胞の進化		<日程> 5/11、5/25、6/8、7/6、8/24、9/7	
2			2章 遺伝子の変化と進化のしくみ(1)			
3	7月6日	1編 生物の進化②	2章 遺伝子の変化と進化のしくみ(2)～(5)		<内容> 各領域、単元における要点の解説。生物的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を養う。レポートNo.1～6の要点の解説を行う。	
4		2編 生命現象と物質①	1章 細胞と物質			
5	8月24日	2編 生命現象と物質②	2章 代謝とエネルギー			
6		3編 遺伝情報の発現と発生①	1章 遺伝情報とその発現			
7	10月19日	3編 遺伝情報の発現と発生②	2章 発生と遺伝子発現			<日程> 10/19、10/26、11/9、11/30、12/14、1/11
8		3編 遺伝情報の発現と発生③	3章 遺伝子を扱う技術			
9	11月9日	4編 生物の環境応答①	1章 動物の刺激の需要と反応		<内容> 各領域、単元における要点の解説。生物的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を養う。レポートNo.6～12の要点の解説を行う。	
10			2章 動物の行動			
11	12月14日	4編 生物の環境応答②	3章 植物の環境応答			
12		5編 生態と環境②	1章 個体群と生物群集			
			2章 生態系の物質生産と物質循環			
			3章 生態系と人間生活			

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
理科	化学基礎	2単位	選択必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座
レポート	全6回	合格枚数：6枚
スクーリング	全8回	合格時間数：4単位時間以上
期末試験	あり	評価割合：60%

教科書	東京書籍「新編化学基礎」（化基702）
学習図書	必要に応じて指示
副教材	なし
評定	100点法・5段階評価

学習の目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	5月11日	1編 化学と人間生活①	1章 化学とは何か	<日程> 5/11、6/8、7/6、8/24 <内容> 各領域、単元における要点の解説。化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を養う。レポートNo.1～3の要点の解説を行う。
			2章 物質の成分と構成元素	
2	6月8日	2編 物質の構成①	1章 原子の構造と元素の周期表	
3	7月6日	2編 物質の構成②	2章 化学結合	
4	10月19日	3編 物質の変化①	1章 物質量と化学反応式	<日程> 10/19、11/9、11/30、12/14 <内容> 各領域、単元における要点の解説。化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を養う。レポートNo.4～6の要点の解説を行う。
5	11月9日	3編 物質の変化②	2章 酸と塩基	
6	12月14日	3編 物質の変化③	3章 酸化還元反応	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
理科	化学	4単位	選択

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「化学Vol.1理論編」(化学701)、「化学Vol.2物質編」(化学702)
レポート	全12回	合格枚数：12枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全12回	合格時間数：7単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

- ・化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・化学的な事物・現象を観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・日常生活や社会の化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名		教材名	スクーリング (日程と内容)
1	5月25日	Vol.1 理論編 1編 物質の状態①	1章 物質の状態	<日程> 5/11、5/25、6/8、7/6、8/24、9/7 <内容> 各領域、単元における要点の解説。化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を養う。レポートNo.1～6の要点の解説を行う。	
2章 気体の状態					
2		1編 物質の状態②	3章 溶液の性質		
			4章 固体の構造		
3	7月6日	2編 化学反応とエネルギー①	1章 化学反応と熱・光		
4		2編 化学反応とエネルギー②	2章 電池と電気分解		
5	8月24日	3編 化学反応の速さと平衡①	1章 化学反応の速さ		
2章_1 可逆反応と化学平衡					
6		3編 化学反応の速さと平衡②	2章_2 平衡の移動		
			3章 水溶液中の化学平衡		
7	10月19日	Vol.2 物質編 4編 無機物質①	1章 周期表と元素		<日程> 10/19、10/26、11/9、11/30、12/14、1/11 <内容> 各領域、単元における要点の解説。化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を養う。レポートNo.6～12の要点の解説を行う。
			2章 非金属元素の単体と化合物		
			3章 典型金属元素の単体と化合物		
8		4編 無機物質②	4章 遷移元素の単体と化合物		
			5章 金属イオンの分離と確認		
9	11月9日	5編 有機化合物①	1章 有機化合物の特徴と構造		
2章 炭化水素					
10	12月14日	5編 有機化合物②	3章 アルコールと関連化合物		
11			5編 有機化合物③	4章 芳香族化合物	
12	12月14日	6編 高分子化合物①	1章 高分子化合物とは何か		
			2章 天然高分子化合物		
		6編 高分子化合物② 7編 化学が果たす役割	3章 合成高分子化合物		
			1章 化学的性質の利用と工業的製法		
			2章 未来を創る化学		

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
保健体育	体育A	2単位	必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	大修館書店「現代高等保健体育」（保体701）
レポート	全2回	合格枚数：2枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全8回	合格時間数：4単位時間以上	副教材	なし
期末試験	なし		評定	100点法・5段階評価

学習の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通じて、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝える力を養う。
3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	7月22日	スポーツの発祥と発展	01 スポーツの始まりと変遷 02 文化としてのスポーツ	<日程> 4/20、6/22、7/27、9/7 <内容> 基本的にスクーリングは実技の授業とする。運動に適した服装と体育館用シューズを持参すること。実技は「卓球」、「バドミントン」、「バスケットボール」の中から1種目を選択して活動する。また、レポートにおける要点の解説も行う。
2	11月16日	スポーツの発祥と発展	03 オリンピックとパラリンピックの意義 04 スポーツが経済に及ぼす効果	<日程> 10/5、11/16、12/7、1/11 <内容> 基本的にスクーリングは実技の授業とする。運動に適した服装と体育館用シューズを持参すること。実技は「卓球」、「バドミントン」、「バスケットボール」の中から1種目を選択して活動する。また、レポートにおける要点の解説も行う。

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
保健体育	体育B	2単位	必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	大修館書店「現代高等保健体育」（保体701）
レポート	全2回	合格枚数：2枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全8回	合格時間数：4単位時間以上	副教材	なし
期末試験	なし		評定	100点法・5段階評価

学習の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通じて、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝える力を養う。
3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	7月27日	運動・スポーツの学び方	01 スポーツにおける技能と体力 02 スポーツにおける技術と戦術 03 技能の上達過程と練習	<日程> 4/20、6/22、7/27、9/7 <内容> 基本的にスクーリングは実技の授業とする。運動に適した服装と体育館用シューズを持参すること。実技は「卓球」、「バドミントン」、「バスケットボール」の中から1種目を選択して活動する。また、レポートにおける要点の解説も行う。
2	11月16日	豊かなスポーツライフの設計	04 効率的な動きのメカニズム 05 体カトレーニング	<日程> 10/5、11/16、12/7、1/11 <内容> 基本的にスクーリングは実技の授業とする。運動に適した服装と体育館用シューズを持参すること。実技は「卓球」、「バドミントン」、「バスケットボール」の中から1種目を選択して活動する。また、レポートにおける要点の解説も行う。

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
保健体育	体育C	3単位	必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座
レポート	全3回	合格枚数：3枚
スクーリング	全10回	合格時間数：6単位時間以上
期末試験	なし	

教科書	大修館書店「現代高等保健体育」（保体701）
学習図書	必要に応じて指示
副教材	なし
評定	100点法・5段階評価

学習の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通じて、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝える力を養う。
3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	6月22日	運動・スポーツの学び方	06 運動やスポーツでの安全の確保	<日程> 4/20、6/22、7/27、8/24、9/7 <内容> 基本的にスクーリングは実技の授業とする。運動に適した服装と体育館用シューズを持参すること。実技は「卓球」、「バドミントン」、「バスケットボール」の中から1種目を選択して活動する。また、レポートにおける要点の解説も行う。
		豊かなスポーツライフの設計	01 生涯スポーツの見方・考え方 02 ライフスタイルに応じたスポーツ	
2	9月7日	豊かなスポーツライフの設計	03 スポーツを推進する取り組み 04 豊かなスポーツライフの創造	<日程> 10/5、11/16、12/7、12/14、1/11 <内容> 基本的にスクーリングは実技の授業とする。運動に適した服装と体育館用シューズを持参すること。実技は「卓球」、「バドミントン」、「バスケットボール」の中から1種目を選択して活動する。また、レポートにおける要点の解説も行う。
3	11月16日	スポーツの発祥と発展	05 スポーツの高潔さとドーピング 06 スポーツと環境	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
保健体育	保健	2単位	必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	大修館書店「現代高等保健体育」（保体701）
レポート	全6回	合格枚数：6枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全4回	合格時間数：1単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。
1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。
2) 健康についての自他た社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他社に伝える力を養う。
3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	7月27日	現代社会と健康	01 健康の考え方と成り立ち ～ 11 薬物乱用と健康	<日程> 4/20、7/27 <内容> 各領域、単元における要点の解説。現代社会と健康について理解を深めること。安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすることを学ぶ。レポートNo.1～3の要点の解説を行う。
2			12 精神疾患の特徴 ～ 19 健康に関する環境づくり	
3		安全な社会生活	01 事故の現状と発生要因 ～ 06 心肺蘇生法	
4	12月7日	生涯を通じる健康	01 ライフステージと健康 ～ 07 中高年期と健康	<日程> 10/5、12/7 <内容> 各領域、単元における要点の解説、生涯を通じる健康について、理解を深めること。健康を支える環境づくりについて理解を深めることを学ぶ。レポートNo.4～6の要点の解説を行う。
5		生涯を通じる健康 健康を支える環境づくり	08 働くことと健康 ～ 04 ごみの処理と上下水道の整備	
6		健康を支える環境づくり	05 食品の安全性 ～ 11 健康に関する環境づくりと社会参加	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
芸術	美術 I	2単位	必修

メディア学習	あり	NHK高校講座「美術 I」
レポート	全6回	合格枚数：6枚
スクーリング	全6回	合格時間数：2単位時間以上
期末試験	なし	

教科書	日本文教出版「高校生の美術 I」（美 I 702）
学習図書	必要に応じて指示
副教材	なし
評定	100点法・5段階評価

学習の目標

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	6月8日	絵画・彫刻①	<関連する教科書のページ> P6～55 絵画分野 P56～67 彫刻分野 P102～122 美術史 P129～154 技法・資料	<日程> 6/8、9/7 <内容> ・6/8：鉛筆デッサン ・9/7：写真表現 各領域、単元における要点の解説。 レポートNo.1～2の要点の解説を行う。
2	9月7日	絵画・彫刻②		<日程> 11/9、1/11 <内容> ・11/9：サインのデザイン ・1/11：鑑賞&美術史（印象主義～ポスト印象主義） 各領域、単元における要点の解説。 レポートNo.3～4の要点の解説を行う。
3		絵画・彫刻③		
4	11月9日	デザイン①	<関連する教科書のページ> P68～91 デザイン分野 P123～124 近代デザイン史 P129～154 技法・資料	<日程> 11/9、1/11 <内容> ・11/9：サインのデザイン ・1/11：鑑賞&美術史（印象主義～ポスト印象主義） 各領域、単元における要点の解説。 レポートNo.3～4の要点の解説を行う。
5		デザイン②		
6	1月11日	映像メディア表現	<関連する教科書のページ> P92～101 映像メディア表現分野 P126～126 映像メディア史 P129～154 技法・資料	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など ※学年末考査は行わないので、通常のレポート、及びスクーリング時の課題・提出物での評価がメインとなりますので、しっかりと取り組むこと。
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
外国語	英語基礎	2単位	選択

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座
レポート	全6回	合格枚数：6枚
スクーリング	全8回	合格時間数：4単位時間以上
期末試験	あり	評価割合：60%

教科書	東京書籍「ラスパ英語」
学習図書	必要に応じて指示
副教材	なし
評定	100点法・5段階評価

学習の目標

高校英語を学ぶ前の基礎知識として、これまでに学習した内容を復習する。基本的な単語、文法を用いて日常的・社会的な話題について情報を考え、それを文章で伝えることができるようになることを目指す。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	6月8日	be動詞(現在) / 一般動詞(現在) 会話(あいさつ) / 三人称単数現在 / 代名詞		<日程> 5/11、6/8、7/6、8/24 <内容> 各領域、単元における要点の解説。中学校で学んだ内容を中心に、文法と会話の基礎を復習する。レポートNo.1～4の要点の解説を行う。
2	7月6日	会話(時間・料金・数をたずねる) / 現在進行系 「～できる」「～できますか」 / 会話(曜日・日付をたずねる) 命令文		
3	8月24日	さまざまな疑問文 / 会話(お願いしたりされたりする) 一般動詞(過去形) / be動詞(過去形) 会話(～しなくてはならない)		
4	10月19日	過去進行形 / 未来形 会話(電話にて) / 動名詞 to不定詞(名詞的用法) / to不定詞(形容詞的・副詞的用法)		<日程> 10/19、11/9、11/30、12/14 <内容> 各領域、単元における要点の解説、中学校で学んだ内容を振り返り、基礎的な語彙・文法を用いた会話表現ができるようにする。レポートNo.5～9の要点の解説を行う。
5	11月9日	会話(誘う/～のように見える) / if、when、becauseを使う文 There is[are]～の文 / 会話(道を尋ねる/具合を尋ねる) 比較級 / 最上級		
6	11月30日	会話(買い物) / 受け身の文(肯定文) 受け身の文(疑問文・否定文) / to不定詞(～すべき、等) 関係代名詞		

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3単位	必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座
レポート	全9回	合格枚数：9枚
スクーリング	全10回	合格時間数：5単位時間以上
期末試験	あり	評価割合：60%

教科書	東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅠ」（CⅠ701）
学習図書	必要に応じて指示
副教材	なし
評定	100点法・5段階評価

学習の目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 - 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 - 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 - 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 - 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 - 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
--

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	5月11日	Lesson 1 Lesson 2	Breakfast around the World	<日程> 5/11、6/8、7/6、8/24、9/7 <内容> ○英語を通して「世界の朝食の紹介」や「高校のユニークな部活動を通して今好きなことと将来の夢について考える」などの題材の内容を理解し、動詞の過去形、進行形、助動詞、不定詞、動名詞の使い方を理解する。 ○レポートNo.1～4の要点の解説を行う。
			Australia's Cute Quokkas	
2	6月8日	Lesson 3	A train Driver in Sanriku	<日程> 10/19、11/9、11/30、12/14、1/11 <内容> ○英語を通して「江戸時代の浮世絵師」や「アンネ・フランクの日記」などの題材の内容を理解し、受け身、比較表現、、現在完了形、分詞、関係代名詞の使い方を理解する。 レポートNo.5～9の要点の解説を行う。
3	7月6日	Lesson 4	A Miracle Mirror	
4	8月24日	Lesson 5	Learning for the Sea	
5	9月7日	Lesson 6	A Funny Picture from the Edo Period	
6	10月19日	Lesson 7	A Diary of Hope	
7	11月9日	Lesson 8	A door to a New Life	
8	11月30日	Lesson 9	Fighting Plastic Pillution	
9	12月14日	Lesson 10	Pigs from across the Sea	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 - レポートの内容の分析 - 定期考査の分析 - その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4単位	選択

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座
レポート	全12回	合格枚数：12枚
スクーリング	全12回	合格時間数：7単位時間以上
期末試験	あり	評価割合：60%

教科書	東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ」(CⅡ701)
学習図書	必要に応じて指示
副教材	なし
評定	100点法・5段階評価

学習の目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	5月11日	Pre-Lesson Lesson 1	My plans for This Year	<日程> 5/11、6/8、7/6、7/27、8/24、9/7 <内容> ○英語を通して「ビートルズの歴史や魅力」や「歌舞伎の歴史とメイクについて」などの題材の内容を理解し、関係代名詞「what」、仮主語「it」、間接疑問文、不定詞を含む表現を理解する。 ○レポートNo.1～6の要点の解説を行う。
			A Colourful World	
2	6月8日	Lesson 2	With the Beatles	
3	7月6日	Lesson 3	Wild Men	
4	7月27日	Lesson 4	Little Hero	
5	8月24日	Lesson 5	Special Makeup in Kabuki	
6	9月7日	Reading 1	Mujina	
7	10月19日	Lesson 6	Seeds for Future Generations	<日程> 10/19、11/9、11/30、12/7、12/14、1/11 <内容> ○英語を通して「京都伝統野菜の種の保存の取り組み」や「カカオ生産と西アフリカにおける児童労働の現状」などの題材の内容を理解し、if節表現、関係副詞、知覚動詞、使役動詞、分詞構文の使い方を理解する。 ○レポートNo.7～12の要点の解説を行う。
8	11月9日	Lesson 7	Over the Wall	
9	11月30日	Lesson 8	Inspiration from Nature	
10	12月7日	Lesson 9	The Bitter Truth behind Chocokate	
11	12月14日	Lesson 10	Fighting Angel	
12	1月11日	Reading 2	Bear's Pie	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
外国語	英語コミュニケーションⅢ	4単位	選択

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座
レポート	全12回	合格枚数：12枚
スクーリング	全12回	合格時間数：7単位時間以上
期末試験	あり	評価割合：60%

教科書	東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅢ」(CⅢ701)
学習図書	必要に応じて指示
副教材	なし
評定	100点法・5段階評価

学習の目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	5月11日	Lesson 1	Gifts to Barcelona	<日程> 5/11、6/8、7/6、7/27、8/24、9/7 <内容> ○英語を通して「ガウディが設計した建築物の概念や特徴」や「衣服の働きと自己表現としてのファッション」などの題材の内容を理解し、不定詞、動名詞、現在完了形、使役動詞、受け身、関係代名詞の使い方を理解する。 レポートNo.1～6の要点の解説を行う。
2	6月8日	Lesson 2	Akkamui	
3	7月6日	Lesson 3	Your True Colors	
4	7月27日	Lesson 4	Our Future Food?	
5	8月24日	Lesson 5	Madagascar	
6	9月7日	Reading 1	The Fun They Had	
7	10月19日	Lesson 6	The Mystery of the Terracotta Warriors	<日程> 10/19、11/9、11/30、12/7、12/14、1/11 <内容> ○英語を通して「地球温暖化と再生エネルギーについて」や「被爆した広島路面電車とその運転士だった女子生徒の経験から平和を考える」などの題材の内容を理解し、関係代名詞非制限用法、比較表現、分詞の用法を理解する。 ○レポートNo.7～12の要点の解説を行う。
8	11月9日	Lesson 7	Green Challenges	
9	11月30日	Lesson 8	Witnesses of War	
10	12月7日	Lesson 9	The Wonders of Lightning	
11	12月14日	Lesson 10	Katherine's Long Journey	
12	1月11日	Reading 2	Table for Two	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・ レポートの内容の分析 ・ 定期考査の分析 ・ その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
外国語	論理・表現 I	2単位	選択

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「NEW FAVORITE English Logic and Expression I」(論 I 701)
レポート	全6回	合格枚数：6枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全8回	合格時間数：4単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、
1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。
2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。
3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	6月8日	Unit 1 ①	Lesson1 初めての食事	<日程> 5/11、6/8、7/6、8/24 <内容> ○現在形、過去形、進行形、助動詞、完了形、受動態、比較表現、動名詞、不定詞の使い方を理解し、表現できるようにする。 ○レポートNo.1～3の要点の解説を行う。
			Lesson2 道に迷う	
			Lesson3 人物紹介	
2	7月6日	Unit 1 ②	Lesson4 体調が悪い	<日程> 10/19、11/9、11/30、12/14 <内容> ○分詞の用法、関係代名詞、関係副詞、仮定法、接続詞の使い方を理解し、表現できるようにする ○レポートNo.4～6の要点の解説を行う。
			Lesson5 買い物	
			Lesson6 行ってみたい場所	
3	8月24日	Unit 1 ③	Lesson7 イベントに誘われる	
			Lesson8 スクールカウンセラーに相談	
			Lesson9 お気に入りを紹介	
4	10月19日	Unit 1 ④	Lesson10 待ち合わせに遅刻	
			Lesson11 家庭でのディスカッション	
			Lesson12 英字新聞に投稿	
5	11月9日	Unit 2 ①	Lesson1 クラウドでディベート①	
			Lesson2 クラウドでディベート②	
			Lesson3 経験談のスピーチ	
			Lesson4 遊びやスポーツを紹介	
6	12月14日	Unit 2 ②	Lesson5 日本をPR	
			Lesson6 物事の両面を伝える	
			Lesson7 読み手を納得させる	
			Lesson8 読み手を説得する	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
家庭	家庭基礎	2単位	必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座
レポート	全6回	合格枚数：6枚
スクーリング	全6回	合格時間数：2単位時間以上
期末試験	あり	評価割合：60%

教科書	東京書籍「家庭基礎」（家基701）
学習図書	必要に応じて指示
副教材	なし
評定	100点法・5段階評価

学習の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	5月25日	家族・社会との共生①	第1章 生涯を見通す	<日程> 5/25、7/27、9/7 <内容> 各領域、単元における要点の解説。 「自立」「職業観」について考察を深め、社会の一員としての自己について目を向ける。 レポートNo.1～3の要点の解説を行う。
			第2章 人生をつくる	
2	7月27日	家族・社会との共生②	第3章 子どもと共に育つ	<日程> 10/26、12/7、1/11 <内容> 各領域、単元における要点の解説。 自分の生活を振り返り、持続可能な生活を営むことに必要な基礎的な理解を図る。 レポートNo.4～6の要点の解説を行う。
			第4章 超高齢社会を共に生きる	
3	9月7日	家族・社会との共生③ 生活の自立①	第5章 共に生き、共に支える	
			第6章 食生活をつくる (1)～(5)	
4	10月26日	生活の自立②	第6章 食生活をつくる (6)(7)	
			第7章 衣生活をつくる	
5	12月7日	生活の自立③	第8章 住生活をつくる	
6	1月11日	生活の自立④ 生活の創造	第9章 経済生活を営む	
			第10章 持続可能な生活を営む	
			第11章 これからの生活を創造する	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・レポートの内容の分析 ・定期考査の分析 ・その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

2025年度 シラバス

東北生活文化大学高等学校 通信制過程

教科	科目名	単位数	履修区分
情報	情報 I	2単位	必修

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍「新編情報 I」 (情 I 701)
レポート	全6回	合格枚数：6枚	学習図書	必要に応じて指示
スクーリング	全6回	合格時間数：2単位時間以上	副教材	なし
期末試験	あり	評価割合：60%	評定	100点法・5段階評価

学習の目標

(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
(2) 様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
(3) 情報と情報技術を適切に活用することにより、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

学習内容

レポート No.	レポート 提出締切日	領域名	教材名	スクーリング (日程と内容)
1	4月20日	第1章	情報で問題を解決する	<日程> 4/20、6/22、8/24
2	6月22日	第2章	情報を伝える	
3	8月24日	第3章	コンピュータを活用する	<内容> 各領域、単元における要点の解説。情報社会で生活していく為の知識、自ら発信するための技術について考察を深める。レポートNo.1～3の要点の解説を行う。
4	10月5日	第4章	データを活用する	<日程> 10/5、11/16、12/14
5	11月16日	第5章	活動して提案する	
6	12月14日	巻末	巻末	

評価方法	
知識・技能	上記「学習の目標」を踏まえ、以下の点に基づき評価を行います。 ・ レポートの内容の分析 ・ 定期考査の分析 ・ その他提出課題、スクーリング参加時の授業態度、など
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	